ー本号の内容ー

●「三中地区市民委員会」とその活動　…1
●「子ども会育成連合会」の取り組み　…3
●「祭りは地域のふれあい」夏祭りの紹介　…4
●公民館新任の挨拶・「土浦市まちづくり市民会議表彰」
「ロンドン五輪シンクロ」糸山選手は三中地区出身…6

平成24年 10月1日　第23号

わたしたちの町の情報源 うちら

発行者 三中地区市民委員会文化広報部 ／ 市民委員会事務局　TEL 843-1233 FAX 843-1294

◇三中地区市民委員会の活動

5月に三中地区市民委員会総会が開催されました。

委員長挨拶、議長選出、議事次第に従って進められ、最後に「土浦市まちづくり市民会議」議長の川又文夫氏（元三中地区市民委員会委員長）の挨拶がありました。

委員長就任挨拶

飯嶋　正之（荒川沖西二丁目地区長）

皆様には、委員会の活動にご理解とご協力をいただき、大変感謝申し上げます。このたび、三中地区市民委員会委員長に就任をいたしました。重責に甚だ身の引き締まる思いでありますが、地域住民の皆様や役員の方々のご指導とご支援をいただきながら務めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、地区市民委員会は「地域ごとの住民自らの手によるまちづくり活動」を推進するために、地区長をはじめ、子ども会育成会、学校、ＰＴＡ、婦人学級など、多くの地域住民により構成される組織です。また、地域の方々がより力を合わせて活動できるよう「6つの専門部会」に分かれ、32町内から実に325名もの部員が選出されております。平成13年に設立されて以来、皆様のまちづくりに対する熱意により活発な事業が展開されておりますが、この活動を三中地区の貴重な財産として、私たちは守り、育てていかなければなりません。これからのまちづくりは、地域住民の皆様が主役であり、住民の交流と融和を深める市民委員会の活動は、今後ますます重要になってくると思われます。

私も住みよい三中地区のまちづくりを推進していきますので、皆様のなお一層のご協力ご尽力をお願いいたします。

歌声喫茶
「ヒットメロディーを歌おう」のご案内

◆開催日
10月20日（土）
午後1:30～3:30

◆場　所
三中地区公民館

三中地区 文化祭のご案内

◆開催日
11月15日（木）～18日（日）

◆場　所
三中地区公民館

◆内　容
作品展示・芸能大会　等

6つの各専門部の活動計画

【福　祉　部】

部　長
坂場　鉱太郎
荒川沖西二丁目

①「ながみね」にて「こうふくバランス健康体操」の継続実施
②男の料理教室の開催（7月・10月）
③出前講座の実施（9月29日）
④講演会の実施（12月8日）
⑤移動学習会の実施（2月予定）
○文化祭ではダンベル体操、減塩料理試食会、福祉の店等を予定

【安　全　部】

部　長
坂寄　まつ江
乙戸町

①救命（ＡＥＤ）講習会の実施（7月28日）
②出前講座（防犯）の実施（10月14日）
③第5回「歌声喫茶」の実施（10月20日）※
④移動学習会の実施（2月予定）
⑤「わいわいウォーキング」の実施（6月・7月・8月・9月）※
○文化祭では芸能大会の開催等

【スポーツ健康部】

部　長
山崎　俊幸
荒川沖南区

①ヘルシーボール練習会（10月～1月4回）
②ヘルシーボール大会（2月3日）
③バスハイキング開催（10月28日）
④「わいわいウォーキング」の実施（6月・7月・8月・9月）※
⑤「歩く会」体協と共催（3月予定）
○文化祭では子どもコーナーの開催

【環　境　部】

部　長
西村　良純
中村東町

①公民館花壇の整備…花壇管理維持ボランティア
②公民館の草取り（5月・6月・9月）
③グリーンカーテンの設置（5月）
④「わいわいウォーキング」の実施（6月・7月・8月・9月）※
⑤ゴミ拾い大作戦（10月・3月予定）
⑥環境に関する研修会の実施（6月6日）
⑦移動学習会の実施（10月14日）
⑧ポイ捨て防止看板の掲示（11月）
⑨土浦市環境展に参加
○文化祭では農産物の即売、クリスマスリース作り等

【文化広報部】

部　長
相川　勇
中村東町

①公民館だより「うちら」の発行（10月・3月予定）
②移動学習会　第24回「文学散歩」の実施（9月12日）
③第5回「歌声喫茶」の実施（10月20日）※
○文化祭では児童作品の展示等

【青少年育成部】

部　長
山田　由美子
西根南三丁目

①チャレンジクラブへの協力（年11回）
②デイキャンプ開催（6月24日）
③映画上映会（8月3日）
○文化祭では子どもコーナーの開催

注　＊は共催事業です

専門部の活動状況

今回は、三つの活動状況を紹介いたします。

【環境部】部員研修会

黒い雲が空全体を覆っている中、雨粒を心配しながらの出発となりました。

今回の目的地は『水戸市植物公園』、『村松山虚空蔵堂』と『那珂湊おさかな市場』です。

植物公園までは、高速道路を使用して約1時間。バスの中では隣席の参加者と楽しくおしゃべりをしながら、退屈するまもなく到着しました。植物公園は、水戸県庁のすぐそばにあります。園内はテラスガーデン、観賞大温室、熱帯果樹温室、植物館、芝生園、ロックガーデン、湿生花園等からなる洋風の庭園です。熱帯から亜熱帯までの植物が見られる観賞大温室と熱帯果樹温室、周辺の自然にあわせて野草を植えたり、水面を多く取り入れ、水の流れを作り出すなど、自然美と人工美の調和した景観がすてきでした。門をくぐるとすぐに両側に花の植えられたオーバーブリッジになり、落水と回廊を組み合わせたテラスガーデンへと続きます。その先には自然に囲まれた大きな池が現れ、その奥に大温室が見えてきます。この温室は、近くにある清掃工場の余熱を利用しています。6月は比較的花の少ない季節ですが、園内の手入れも行き届き、通路脇の花壇にも見頃を迎えた花々に植え替えてあり、我々を華やかに迎えてくれました。

また、今回の見学に際し、案内の方をお願いしたところ、土浦出身の方が2名来て頂き、2グループに分かれて見学をしました。単に園内を廻るだけですと〝花がたくさんあるね〟で終わってしまうところですが、案内の方のおかげで、草花、温室内の植物、薬草などの説明と共に、当日咲いていない草花などの説明もあり楽しく過ごすことが出来ました。午後からは、青空になり、空海により創建されたとされる村松山虚空蔵堂を散策し、那珂湊おさかな市場で、晩ご飯のおかずをたくさん買い込んで研修会を終了しました。

環境部長　西村　良純

【安全部】救急救命・ＡＥＤ研修会

安全部の企画で7月28日に三中地区公民館において開催されました。

講師は「荒川沖消防署」の方2名でした。受講者は研修会とはいえ緊張していましたが、学んだことを常に心掛け、いざというときは周りの方と協力して救急車が来るまで教護活動を続けることが大切です。

取材　文化広報部

【青少年育成部】部員研修会

6月24日「土浦市青少年の家」にお

いて青少年育成部の部員会が開催されました。

9時半から山田部長、菅原副部長、鈴木副部長らの挨拶と自己紹介がありスポーツ健康部も協力して楽しい企画が進みました。

簡易綿あめ製造とバランストンボ作成実演を、菅原副部長に指導してもらいました。綿あめ製造実演はハンディ扇風機の羽根部を取り除いたモーターを空き缶に取付け、回転によって缶の穴から綿あめが噴出する仕組みでした。それを割り箸で拾う味は甘くて、さくさく感もありなかなかおいしく、簡単な仕掛けでできる綿あめ製造の仕組みが子どもたちも大人も関心しました。

バランストンボ作成では、くちばしの部分を引っ掛けるだけでトンボがバランスを保ち落下しない一品です。本来は竹細工ですが、身近にあるプラスチック製品をカットして作る羽根とシッポとのバランスを図りながら重さを調節する作業が楽しいところです。かなりテクニックを要しました。

おなかが鳴りました昼食は先に仕込んでおいたカレーです。たまねぎ、豚小間きれ、じゃがいも、にんじんなど、玉ねぎの煮えるときの甘い香りと、カレーの香りが食欲を誘い大好評のできばえでした。野外で食べるから旨いのは当たり前ですが、夏野菜のうまみがすばらしく美味でした。

最期にスポーツ健康部の指導で、ヘルシーボールの特訓をしました。ラグビーボールのさらに大型サイズのボールをバレーボールのように打ち合うゲームで、うまく相手コートまで届かない難しさがおもしろみの一つです。

来年2月に協力指導してくれたスポーツ健康部が大会を開催計画中です。チームを作って参加するとけっこう楽しいです。各町内への参加案内が後日回覧されますので是非参加してみてはいかがでしょう。

取材　文化広報副部長　赤川　澄信

子ども会育成連合会の取り組み

荒川沖小地区

荒川沖小地区子ども会育成連合会は9町会単位の子ども会育成会で構成され、荒川沖小学校の全児童数は358名となっています。荒川沖小地区では、子ども会育成会と土浦市子ども会育成連合会（市子連）とのパイプ役としてまた、関係団体との連絡、調整、単位子ども会育成会の相談相手として活動をしています。メンバーは6名、東一丁目・東二丁目で活動しています。(他の町会で1名育成会の活動に参加したい方を募集しております。)

今年度活動計画は、3月に総会・バザー説明会。5月にバザー・ドッジボール講習会。6月にドッジボール地区大会。8月にドッジボール中央大会・リーダー講習会（2日間）。10月に土浦市子ども祭り（荒小の担当は金魚すくい）・荒小の単独行事の親子グランドゴルフ大会。1月に土浦市かるた会予選会（2位）。2月に土浦郷土かるた中央大会（平成22年・23年は優勝、今年は3位）・次年度新役員講習会です。

以上が今年度活動ですが、これから連合会として単位子ども会のなかで子どもリーダー会を行い、子どもの目線で物事を考えながら、子どもたちに魅力があり、楽しい、どの子も参加したくなるような企画や運営にしていけるように、各単位子ども会育成会の方々の声を聞き皆様のご協力を頂きながら、子どもたちが持っている素晴らしい資質と可能性を引き出すために、新しい企画を子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。

荒川沖小地区会長　古谷　浩

乙戸小地区

本連合会は、昭和59年4月乙戸小学校新設と同時に結成され、今年で28年目を迎えました。結成当初から子どもたちと活発な活動を行っており、それぞれの時代に応じた活動を計画・実施しております。最近の主な行事は、夏、秋、冬の季節ごとに行っております。夏の行事は「乙戸小学校プール開放」。暑い夏休みの開始と同時に、乙戸小学校にプールを開放していただき、子どもたちがプールで元気に遊べるよう、救急救命講習会を受講した父母が監視当番をして見守っております。近年は温暖化の影響なのか好評で、10日間の期間中低学年から高学年まで延べ800名ほどの子どもたちが参加しております。

秋の行事は、身近な「青少年の家」での「デイキャンプ」。飯盒炊飯でのカレーライス作り、火起こし体験、ミニゲーム遊び等を、親子で体験してもらっています。特に父親の参加を呼びかけており、昨年度は大人、子ども合計160名の参加人数となりました。結成当初の「宿泊キャンプ」から形態は変わりましたが、一日を通して親子でふれあえる行事となっております。

冬は、「乙戸小地区かるた大会」。2

月頃に開催される、土浦市子ども会育成連合会主催の「土浦郷土かるた中央大会」への出場をかけ白熱した戦いが繰り広げられます。

今後も、子どもたちの自主性を尊重し、保護者の方や乙戸小学校地区の地域の皆様と協力し、子どもたちにより良い環境を提供すべく活動していきたいと思います。

乙戸小地区会長　松本　信一

中村小学校地区

中村小学校地区子ども会育成連合会（略称 中子連）は、11単位子ども会育成会で構成され、平成24年4月現在で、子ども会会員数は341名となっています。

中子連では、4つの行事を柱に年間事業の計画を立て、楽しく実りある活動ができるよう進めています。5月には1年生歓迎会を実施し、1年生と高学年が一緒に紙ひこうきを作り、飛ばして交流を深めました。8月にはドッジボール中央大会が開催されるため、町内編成でつくられた3つのチームが汗を流し練習をがんばっています。11月にはジュニアフェスティバルという地区ごとにコーナーに分かれて手づくりの遊びを設置し、6年生が進行する行事があり、準備に大忙しです。更に、12月中旬には土浦郷土かるた地区大会が青少年の家で行われます。そのほかにも、市子連事業には積極的に参加して、協力をしています。

これからも連合会として、子どもたちに魅力があり、育成会の方々の声を聞きながら努力していこうと思っています。

中村小学校地区会長　宇野　理絵

「丁目」という区切りを超える夏祭り『浦南（ほなみ）』

もっと地域の交流の場を増やそう、と以前行われていた夏祭りを復活させたのが4年前。そして今年はその復活から5回目を迎えることができました。土浦市の南部ということでこの名をつけましたが、町内の垣根なくみんなで楽しみたいという願いもこめられています。実際、実行委員会は中村南五丁目が主となっていますが他の町内からの参加者も含まれています。そして、山車は隣接町内協力のもと各町内の公民館を通る巡行コースをとっています。世代を超え、老若男女、そして「丁目」という区切りを無くしていこうということが我々、浦南夏祭り実行委員会の目標なのです。急速に発展し続ける現代社会において人の力だけで山車を引いていくという経験は子供たちにとって協調して楽しむことを学ばせる良い機会かもしれません。そしてその子供たちが成長して文化を引き継いでくれるまで、我々大人はその火を絶やさないで灯し続ける、それが義務であると思います。

考えや思いはここで伝えきれないほど多くありますが、これは祭りです。細かいことは抜きにしてまずは「楽しむ」ことが大事。みんなでかけ声出して、笑って盛り上がる。1年の内、2日間だけでも普段ただ通り過ぎていくだけの路地をゆっくり、ゆっくりとみんなで賑やかに進んでいきたいと思います。

最後に、我々浦南夏祭り実行委員会は今までの経験を活かして更なる発展を目指し、一人でも多くの参加者を願っています。楽しい思い出はみんなで共有したいものですから。

浦南夏祭り実行委員長　篠崎　剛志

中村南一丁目&五丁目夏祭り

7月21、22日、恒例の夏祭りが開催されました。今年は30周年記念と言う事で役員始め町内一同、歳月の流れと祭りのできる幸せを感じたのではないでしょうか。

初日子供神輿が10時より安全祈願のあと町内を巡行しました。元気な子供達の明るい声、神輿をかつぐ人、太鼓をたたく人、奉納箱を持つ人、みんなで協力し合って掛け声をかける人、それぞれ役割はちがうけれど、一所懸命です。未来のある子供達頑張れ！ファイト！お昼はうどんに天ぷら、4時からはスイカ割り、夕方5時から夜店の始まり、焼きソバ、フランクフルト、かき氷、ヨーヨー、その他盛り沢山、公民館の敷地がところ狭しと溢れるばかりの人だかり、うれしい限りです。

祭りの囃子と子供たちのはしゃぐ声、なつかしい人との出会い、祭りはうれしいものです。2日目は午後より山車の巡行です。夏祭りは中村町内唯一の神田囃子

保存会があります。今年は5丁目との共演で巡行しました。

5丁目のお神楽もみごとです。ガードマン、お巡りさん、それに町内の力強くやさしい大人たちに見守られながら、お囃子の音色とリズムに乗って引く山車は子供心にやさしさと郷土の思い出としていつまでも記憶に残ることでしょう。

山車の巡行が戻って来る頃、婦人クラブ員のお母さん達のカレーがまっています。夜8時からはお楽しみ抽選会です。山車の上からは恵比寿様に扮したお神楽が大きな鯛を釣りあげると、祭り実行委員会、役員さん方が餅まき、おひねりと祭りは絶好調、次は抽選会と、町内みなで協力し合った楽しい夏祭りも無事終了、皆様お疲れ様でした。

中村南一丁目文化広報部員　高山愛子

東のまつり　7月14日・15日

乙戸町　7月28日・29日

荒川沖西区　7月28日・29日

中荒川沖町　7月14日・15日

西根南二丁目　8月4日

中村東町　7月28日

西根南一丁目　7月28日

公民館の新任ご挨拶

今年4月に高齢福祉課から異動して参りました。公民館での仕事は慣れないことばかりで、毎日緊張の連続ですが、うれしいことの連続でもあります。同好会や講座、市民委員会、体育協会等の事業を通して地域の皆様と触れ合うことができ、温かい笑顔やお気遣いをいただけるからです。皆様に支えられながら、より地域の皆様に親しまれる公民館となるよう、力を尽くしていきたいと思います。

また、公民館の花壇が綺麗に整備されているのにはとても驚きました。花が大好きな私にとって、毎日の出勤の楽しみになっています。公民館を訪れる方々に対しても、きっと心を癒してくれると思います。優しさに包まれ、花に包まれた三中地区公民館に足を運んでいただければ幸いです。公民館は生涯学習の場であるとともに、地域コミュニティ活動の拠点でもあります。お子様から高齢者の皆様まで、多くの方々とふれあいながら私も成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

公民館　主事　平本　容子

受賞おめでとうございます

「土浦市まちづくり市民会議」主催による「花いっぱい運動コンクール」及び「まちづくりの実践をたたえる表彰」の表彰式が8月22日国民宿舎「水郷」で開催され、三中地区からは次の方々が表彰されました。

まちづくりの実践をたたえる表彰

【個人の部】（敬称略）

安藤　幸一（北荒川沖町）　文化の振興（13年）

今井　孝治（中村南四丁目）　奉仕・防犯活動（31年）

栗原　利光（中村南二丁目）　環境美化（10年）

湯原　力（荒川沖）　防犯活動（7年）

【団体の部】

荒川沖西三丁目　千寿会　代表　高坂　一之　奉仕・防犯活動（13年）

花いっぱい運動コンクール

【地域の部】

最優秀賞　三中地区市民委員会

最優秀賞　荒川沖東一丁目熟年会

優秀賞　中村南五丁目さわやか会

優秀賞　北荒川沖町自治会

優良賞　中村南三丁目三和クラブ

優良賞　中村南三丁目かけはし会

優良賞　土浦市ふれあいセンターながみね

【学校の部】

最優秀賞　土浦市立荒川沖小学校

優秀賞　土浦市立東小学校

読者投稿コーナー

『糸山選手』は三中地区出身

ロンドンオリンピックシンクロナイズドスイミングは世界5位に終わったが注目は『糸山真与』選手です。

1991年11月1日生まれ20才。乙戸小、土浦第三中を卒業した。ほぼ毎日、片道2時間から2時間半かけて、都内や横浜市などのプールへ通い、帰宅は毎晩11時頃だった。取手市の聖徳大附属聖徳高（現・聖徳大附属取手聖徳女子高）3年時には、ジュニアオリンピック・シンクロのソロ、デュエットの2部門で優勝した。現在、日本体育大に在学中。

うちらの町のその後

私たちの町では、集会所である児童公民館とその周辺が、季節の花に彩られ、いつも目を楽しませております。これは、自治会婦人部会が、各部会のご協力を得ながら、町内美化活動の一環として行なっているものです。

私たちの町をより美しく爽やかに、そして住みよい町づくりをめざそうと、数年来とりくんできました。町内の道路は狭く、道に沿って植えることはむずかしい。そこでみんなが利用する児童公民館を中心にしております。こととはゴミ集積所のわずかな空間にも小さく植え込むなど、新しい試み、工夫が見られます。大変なのは日々の管理、部会員のみなさんが手分けしながら、水やりや見回りを続けており、そのご苦労がしのばれます。集会所に集う町のひとたちも、その美しい花々に心和ませている様子です。

西根南一丁目　文化広報部員

編集後記

たくさんの話題が紙面いっぱいとなりました。本誌がお手元に届く頃は市民体育祭に向け、猛暑の夏を乗り切った思いをぶつけておられることでしょう。記事の寄稿などご協力ありがとうございました。

文化広報部　編集担当　赤川澄信

VEGETABLE OIL INK　植物油インキを使用しています。